

平成19年度第1回都市環境デザイン委員会議事概要

日時：平成19年5月21日（月）13：30から

場所：市役所10階第6会議室

出席委員：10名

河西委員、神田委員、小藤田委員、佐伯委員、渋谷委員、鈴木委員、高橋委員、
瀧川委員、鳥宮委員、橋本委員

事務局：6名

竹下都市建設部企画調整監、横田都市計画課長、中村課長補佐、
三井基本計画係長、佐藤主任、松林主任補

議事概要

1 開 会

2 委員への依頼状交付

帯広市都市環境デザイン委員会設置要綱第3条2項の規定に基づき、欠席委員2名を除く10名の方に河合副市長から委員へ依頼状交付いたしました。

3 副市長挨拶

河合副市長から平成19年度第1回都市環境デザイン委員会開催にあたっての挨拶がありました。

4 各委員自己紹介

5 委員長・副委員長の選出

帯広市都市環境デザイン委員会設置要綱第5条1項の規定に基づき委員の互選により、委員長に瀧川委員され、同3項の規定に基づき瀧川委員長の指名により委員長職務代理者・副委員長に河西委員が選出されました。

6 委員長挨拶

瀧川委員長並びに河西委員から今後の委員会運営に向けた挨拶がありました。

7 議題

(1) 報告事項

1) 都市景観の概要

2) 年間スケジュール

資料1・2により帯広市の都市景観に関する施策の概要と平成19年度の委員会の開催スケジュールを事務局から説明を行いました。

(2) 協議事項

1) 平成19年度都市景観形成主要建築物の選定について

資料3により、「帯広市都市景観形成に資する公共施設・公共サイン推進要綱」に基づく公共施設協議の流れを説明しました。また、協議物件（案）として事務局が提示した2つの物件が平成19年度の協議物件に選定されました。

委員からの主な意見等は以下のとおりです。

- 【委員】整備担当部署の都合と委員会の開催が切迫し、意見を出しても反映されないことがある。早い時点で意見を出せるスケジュールづくりをしてほしい。
- 【委員長】意見を出しても予算的な面で難しい、ほとんど出来上がっており、意見を反映させるのが難しいという話が今までであった。見直し可能な設計の段階など早いうちにデザイン委員会で協議出来るとよいと思う。
- 【事務局】協議スケジュールは一応の目安である。整備担当部署と設計の状況などを確認し予定を繰り上げるなど行い、可能な限り早期に協議いただけるように対応したい。

2) まちづくりデザイン賞実施要領及びテーマ決定について

資料4により、「帯広市まちづくりデザイン賞」の実施要領及び過去2回の実施内容について説明しました。

別添資料をもとに、平成19年度のまちづくりデザイン賞のテーマについてご意見を頂戴しましたが、決定には至らなかったことから、委員から提案のあった案の3「優しさあふれるまち、帯広～愛あふれる親切なまちづくり、みんなが心地良い環境を考える～」と事務局案の4「20年後のおびひろ～コンパクトなまちづくりを目指して～」をベースに瀧川委員長と事務局が協議して決定することし、承認とされた。

※ 委員長と協議の上、以下のとおり決定いたしました。

「緑と優しさあふれるまち！ ～20年後のおびひろ～」

委員からの主な意見等は以下のとおりです。

(まちづくりデザイン賞の選考について)

- 【委員】まちづくりデザイン賞の選考にあたって、設計者やオーナー等にデザインの意図などを聞ける場を設けてほしい。
- 【事務局】9月に開催するまちづくりデザイン賞の選考の際に見に行くまたは来ていただくといった方法がある。複数の案件があり、プレゼンテーションに参加出来ない方が出てきた場合に公平性の面問題が出てくるため、応募者と調整しながら考えたい。
- 【委員】1週間程度の期間を設けて自由に話を聞けるような形も検討してほしい。
- 【委員長】案件を見に行った時に委員とわかってもらえず、一体誰が来たのかという対応をされたことがある。そういう面では全員が行くほうがよいとも思える。こちらに来てもらおうとすると、来られない恐れもあるが、こちらから出向くことによってはそういう問題がないため、可能ではないか。
- 【事務局】バラバラに話を聞きに行かれると先方にも多大な負担となる。賞の選考の冒頭で話していただくほうがよいのではないか。賞の選考に長時間を要するが、応募の状況によってはその説明にも半日近く要してしまう可能性もあるので、状況をみて判断する必要があると思う。
- 【委員長】可能であればそういう形をとってほしい。

(まちづくりデザイン賞のテーマについて)

- 【委員】案4「20年後のおびひろ」は言葉がどうかはさて置いて、今年の6月からまちづくり検討委員会が設置され、帯広市が今後コンパクトシティを目指すことを検討している中で、市民にその周知を図る面でも良いテーマだと思う。
- 【委員】コンパクトシティそのものに賛否両論ある中、「コンパクトなまちづくりを目指して」の部分はどうかと思うが、タイムリーな話題ということで案4は良いテーマだと思う。
- 【事務局】案4は現在策定中の「持続可能なまちづくり」を狙いにしたもので、案5は「景観100選」の取り組みを念頭に置いたものである。これらは、平成17年度の「わたしが描く魅力あるまち・おびひろ」と同じ意味合いのものである。また、案2は都市マスタープランで謳っている内容であり、案1から4も基本的に求める方向性はどれも同じであると思うので、事務局案よりも委員案を採用していただきたい。
- 【委員長】案1から3と「20年後のおびひろ」を上手くまとめたいと思う。どれか一つに絞るのかまとめてテーマをつくるのかいずれが良いのだろうか。
- 【委員】案4にすると昨年と同じような作品が出てくると思われる。案5をテーマにすると四季を感じるという面で今までと違った視点からの作品が見られるのではないか。
- 【委員】案4は制約が多すぎる気がする。テーマ毎にそんなに差があるとも思えない。
- 【委員】案2と案4を兼ね合わせたものをテーマとしてはどうか。
- 【委員】事務局にテーマ選定を任せてはどうか。
- 【委員】まちづくりデザイン賞の応募は小学生が中心となっているので、小学生用と一般用にテーマを分けて、応募する世代を広めようとしたはずだが、前回の応募の際には上手く反映されなかった。一般用のテーマは、20年後という具体的なビジョンが明確なもので返ってくる気がする。前回、小学生からの応募は遊園地的な構想が多かった。小学生世代の応募を増やすためにはそういう身近なテーマにするという方法もある。
- 案3の「優しさあふれるまち」が「風景」でもよいと思う。捉え方によっては「人とのふれあい」でもよいと思う。想像しやすいテーマに言葉を膨らませながらまとめられればよいと思う。
- 【委員】委員会でも何度か意見が出ていたが、「季節による帯広のよさ」はあると思うし、そういうものを取り入れていければよいと思う。
- 【委員長】一つにまとめることは難しいようなので、案2、4、5辺りで「コンパクトまちづくりを目指して」の部分を除いて、「20年後のおびひろ」をメインに事務局と打合せをしながらつくっていきたい。
- 【委員】メインテーマとサブテーマを決めて昨年同様に大人用のものと子ども用のものを設けてはどうか。
- 【事務局】昨年はサブテーマの一つ目は大人向け、二つ目は子供向けという形であった。さきほど話にあったように子供達はテーマに即して書かれていないようなものもあった。子供にはわかりづらいのではないかと

思う。

【委員】賞自体が一般的にわかりにくいのではないか。何を応募するのか、応募するとどうなるのかわかりにくい気がする。

8 その他

【事務局】次回日程は7月の中旬に開催予定であるが、詳細は決まり次第連絡する。

まちづくりデザイン賞については、テーマが決まった後、広報活動に入るが、その時点で委員にも送付する。活動部門の応募が少ないことから、お声掛けをいただきたい。よい物件をお知らせいただければこちらの方から当りたいと思うのでよろしく願います。

【委員長】広報誌に掲載されているが、意外と周知されていないので、委員の皆さんの方でもデザイン関係、建築関係の方に周知していただけるとたくさんの応募が出てくるのではないかと思う。

【事務局】今年出来た物件でなくとも応募対象となるので、過去に出来た物件であってもデザイン賞を受けていないものがあれば応募の働きかけをお願いしたい。事務局に教えていただければ、こちらから応募のお願いに当たる。

【委員長】7月の中頃を外して後半の方に次回の開催をお願いしたい。

【事務局】了解した。